

1 地震・津波と防災に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

日本列島は、ユーラシアプレート、北アメリカプレート、フィリピン海プレート、 の4つのプレートの境界が集まる地域に位置し、地震や火山活動が活発である。地震は、プレートの境界で発生する 地震(プレート境界地震)と、プレート内部の断層がずれることで発生する 地震(プレート内地震)に大別される。

地震発生時、三角州のような場所では、建物や橋などの建造物が破壊される被害が発生しやすくなる。⁽¹⁾ また、地震に伴って液状化現象が発生することがある。⁽²⁾ さらに、津波が発生した場合は建造物の破壊などの被害の他、逃げ遅れによる人的被害が生じるおそれがある。

こうした被害を最小限にとどめるために、建造物を地震に強くする や、防災施設の建設などが行われている他、ハザードマップの整備や避難訓練の実施⁽³⁾ といった対策が進められている。

さらに、過去に津波による被害を受けた地域では、市街地のかさ上げや高台移転を実施することで安全性を高めている例がある。また、近い将来におこるとされる 地震による被害が想定される日本の太平洋沿岸の地域では、津波浸水のおそれがある場所に立地する公共施設を高台に移転する例もみられる。⁽⁴⁾

問 1 文中の空欄 ~ に当てはまる語句を答えよ。なお、同じ記号の欄には同一の語句が当てはまる。

問 2 下線(1)に関して、このような場所で建造物が破壊される被害が発生しやすい理由を説明せよ。

問 3 下線(2)に関して、地震による液状化現象に関する説明として適当でないものをイ)～ニ)からすべて選び、記号で答えよ。

イ) 液状化現象は、地震などの振動によって水を含んだ地盤が液体状になることをいう。

ロ) 1964年に発生した新潟地震では、信濃川周辺や新潟空港で液状化が大規模に発生し、その現象が広く知られるようになった。

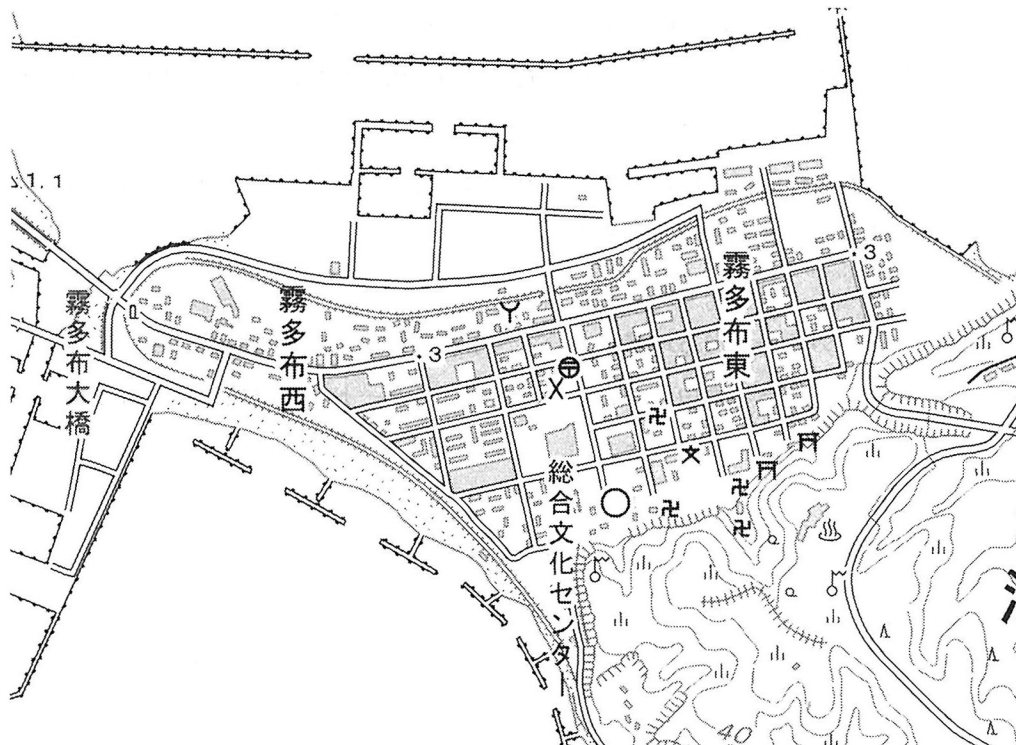
ハ) 液状化現象が発生すると、噴砂や地盤沈下がおこり建物が傾く被害が生じるおそれがある。

ニ) 谷を埋めて造成された住宅地においては、地盤が踏み固められているため液状化現象が発生することはない。

問 4 津波の危険がある地域において、下線(3)のような対策が逃げ遅れを防ぐために有効である理由について、一般的にハザードマップに記載されている内容に触れながら説明せよ。

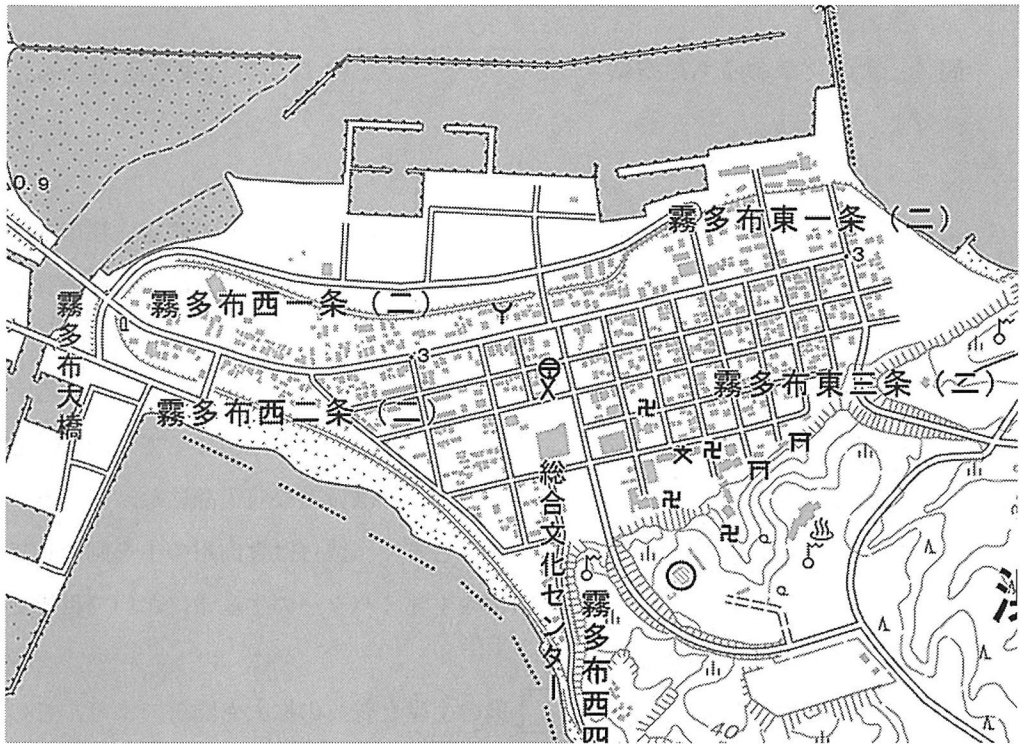
問 5 下線(4)に関して、以下の地図は日本の太平洋沿岸の同一地域における町役場の移転前後の状況を示したものである。町役場の移転前と比べて移転後の方が、この地域の津波に対する安全性が向上したと考えられるが、その要因を住民の避難行動と行政による公的支援の観点から説明せよ。

[町役場移転前]



国土地理院 2万5千分1地形図「霧多布」(2020年発行)より抜粋・縮尺変更。

[町役場移転後]



国土地理院「地理院地図」(2025年閲覧)より抜粋。

2 食料と農業に関する以下の設問に答えよ。

問 1 次の文章のうち、空欄 a ~ e に当てはまる語句を答えよ。

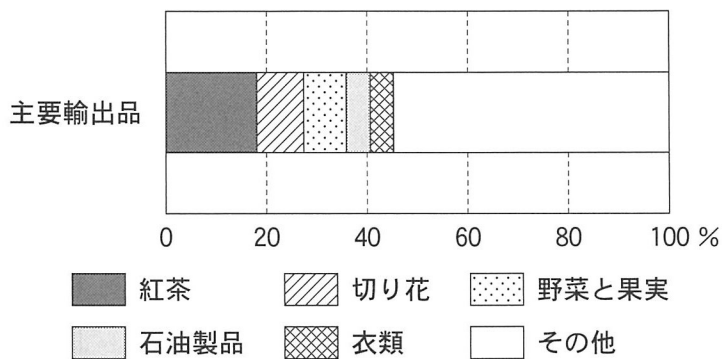
インドでは、酪農技術の改良や組織化による集荷ルートの確立，都市での流通網の整備などによって，飲用や各種乳製品の原料としてミルクの消費量が急増した。この現象は a とよばれる。

b 教徒の多いインドは，牛を神聖視して食べない人や菜食主義者（ベジタリアン）も少なくない。他方で，牛や水牛は耕地がなくても飼育できるため，土地をもてない貧しい農家にとっては貴重な収入源になっている。

また，c 教を信仰する人々も多く，彼らは食肉用の牛を飼育している。現在，インドは牛の飼育頭数や生乳・バター生産量において世界でもトップを競っている。

宗教的禁忌の少ない d 肉の生産と普及の拡大も顕著であり，この状況はこれまでの農業分野における品種改良や技術革新，特定製品の需要拡大になぞらえて e とも称される。肉類の消費が少なかったインドの人々に貴重なたんぱく質を供給するなど，農業や食生活の変化に大きな影響を与えている。

問 2 下の図は、2023 年におけるケニアの主要輸出品の輸出額に占める割合を示したものである。上位 3 品目(紅茶, 切り花, 野菜と果実)を用いて、ケニアの農業の特徴について説明せよ。



二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』(2025)により作成。

問 3 下の表 1 は、イギリス、イタリア、フランス、日本における生産額ベースとカロリーベースの食料自給率を示したものである(日本は 2023 年度, 他は 2021 年の数値)。①~④に該当する国をそれぞれ答えよ。

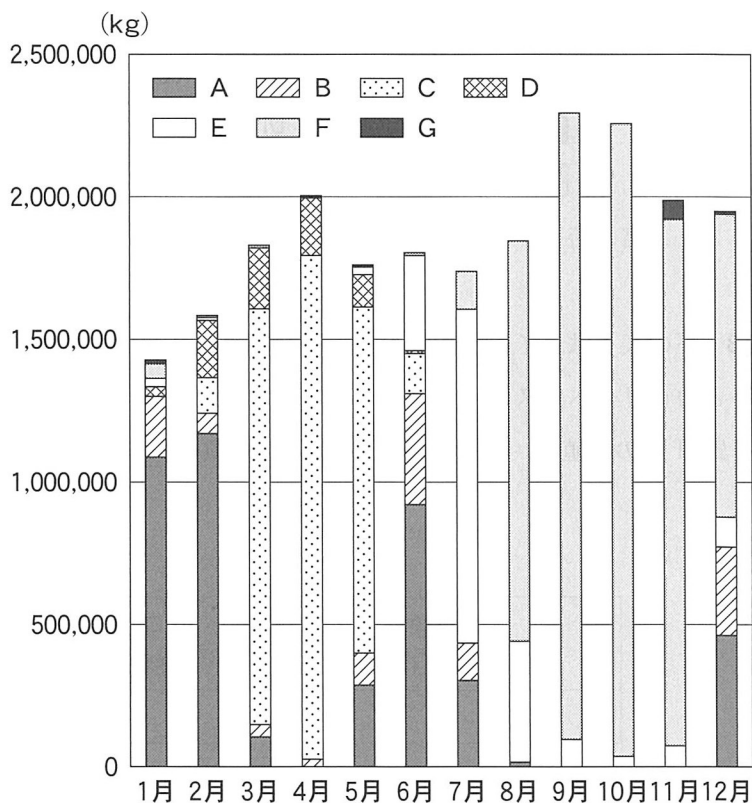
表 1

	生産額ベースの食料自給率(%)	カロリーベースの食料自給率(%)
①	75	55
②	61	38
③	61	58
④	72	121

農林水産省ホームページ「世界の食料自給率」により作成。

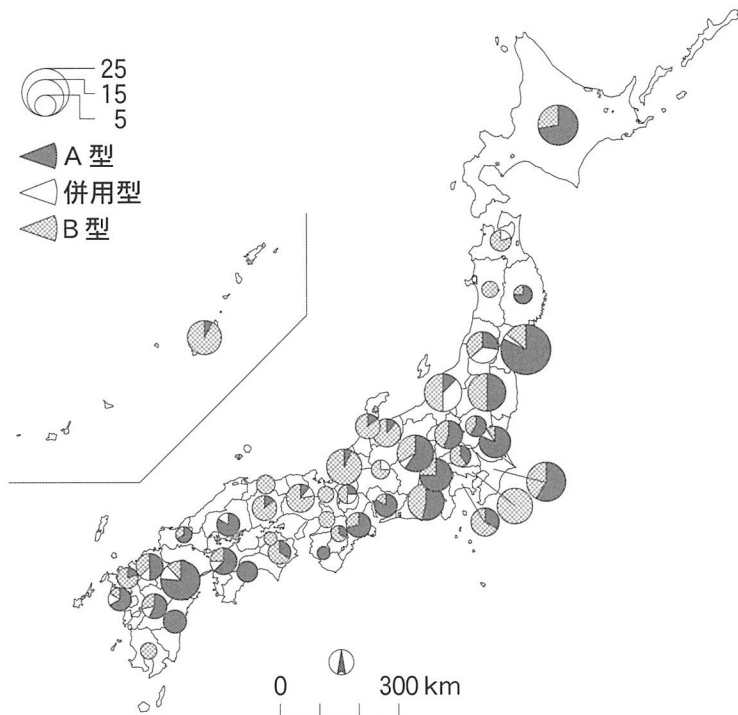
問 4 表 1 を参考に、日本における生産額ベースとカロリーベースの食料自給率の高低について両者を比較する形で説明せよ。

問 5 下の図は、2024年における東京都中央卸売市場のかぼちゃの産地別取扱実績を月別に示したものである。A～Gは、沖縄県、鹿児島県、北海道、国内(その他)、ニュージーランド、メキシコ、国外(その他)を示している。北海道とニュージーランドに該当するものをA～Gから選べ。また、この図をもとに、国内産地(北海道と国内他産地)および国外産地の月別の出荷動向について説明せよ。



東京都中央卸売市場ホームページ「市場統計情報(月報・年報)」により作成。

問 6 下の図は、日本の都道府県別にみた植物工場数と施設タイプの内訳(2018年)を示したものである。凡例中の A と B は、人工光型と太陽光型の植物工場のいずれかを示している。A と B に該当する型をそれぞれ選び、そのように判断した理由を説明せよ。



後藤拓也(2019)「日本における植物工場の立地展開に関する地理学的分析」により作成。

3

地球環境問題に関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

産業革命以降の急速な工業化や人口増加にともなって、地球規模での環境汚染や環境破壊などのさまざまな問題が発生している。

化石燃料の使用などによって排出される温室効果ガスの濃度の上昇は、⁽¹⁾
[A] の主な原因と考えられている。[A] に対する取り組みは国際的な協調のもとで進められ、1992年の国連環境開発会議(地球サミット)では「[B]」をスローガンに掲げ、[A] に関する初めての条約である [C] が締結された。条約にもとづいて締約国会議(COP)が定期的に行われ、1997年には [D] が採択された。この枠組みは、2015年に採択された [E] に引き継がれ、それぞれの参加国が温室効果ガスの削減目標を設定し、そのための国内対策を実施することが義務づけられた。⁽²⁾ [A] への対策には緩和策と適応策があり、環境保全と経済発展を両立させるためには、これらを適切に組み合わせていく必要がある。

問 1 文中の空欄 [A] ~ [C] に当てはまる語句を答えよ。なお、同じ記号の欄には、同一の語句が当てはまる。

問 2 日本では、四大公害などに代表される公害問題がある。公害とは何かを説明せよ。また、公害と地球環境問題の違いについて、「加害者」と「被害者」の2つのキーワードを使用して説明せよ。

問 3 下線(1)に関して、温室効果ガスに関する説明として正しいものをイ) ~ 二) からすべて選び、記号で答えよ。

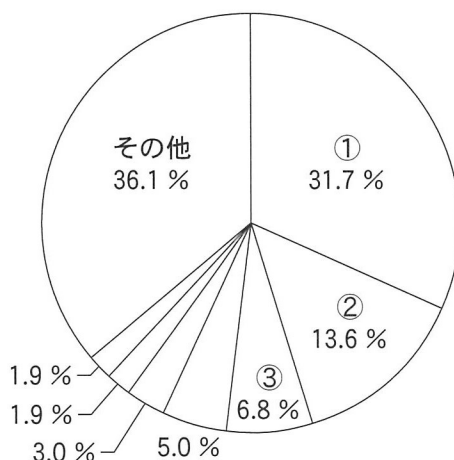
イ) 温室効果ガスは、地表から放射される熱エネルギーを吸収して地表に戻し、地球の温度を保つはたらきをする。

ロ) 温室効果ガスのうち、単位質量あたりの温室効果が最も強力なのは二酸化炭素である。

ハ) オゾン層破壊の主な原因であるフロンは、モントリオール議定書の発効によって生産や消費が規制された。

二) 国や企業ごとに温室効果ガスの排出枠を割り当てたうえで、実際の排出量と排出枠の差を取引する仕組みを、カーボンニュートラルという。

問 4 下の図は、2021 年における世界の二酸化炭素排出量の国別割合を示したものである。図中の①~③に当てはまる国名を、イ) ~ ト)の中から選び、記号で答えよ。



二宮書店『データブック オブ・ザ・ワールド』(2025)により作成。

イ) 日本 ロ) インド ハ) サウジアラビア ニ) アメリカ合衆国
ホ) ブラジル ヘ) 中国 ト) ロシア

問 5 文中の空欄 と に当てはまる語句を答えよ。そのうえで、下線②をふまえて、両者の違いを温室効果ガスの削減主体に着目して説明せよ。

問 6 世界規模で異常気象を引き起こす現象について説明した以下の文章を読み、空欄を埋めよ。 と には用語を記入し、 ~ には、当てはまる語句の正しい組合わせを、下の表の①~④から1つ選び答えよ。なお、同じ記号の欄には、同一の語句が当てはまる。

現象は、貿易風が弱まることで、太平洋東部の熱帯域で海面水温が平年より なる現象である。 現象が発生すると、日本では となる傾向がある。 現象は、貿易風が強まることで、太平洋東部の熱帯域で海面水温が平年より なる現象である。 現象が発生すると、日本では となる傾向がある。

	c	d	e	f
①	高 <	猛暑・寒冬	低 <	冷夏・暖冬
②	高 <	冷夏・暖冬	低 <	猛暑・寒冬
③	低 <	猛暑・寒冬	高 <	冷夏・暖冬
④	低 <	冷夏・暖冬	高 <	猛暑・寒冬

4 イギリスに関する以下の文章を読み、設問に答えよ。

イギリスは、ヨーロッパ大陸の北西にあるグレートブリテン島とアイルランド島北部などからなり、・・スコットランド・北アイルランドの4地方に分けられ、冬も緯度が高い割には温暖な気候であり、1年を通じて雨が降ることで知られている。⁽¹⁾首都ロンドンでは、造船所跡地であったドックランズ地区の再開発に代表されるジェントリフィケーションがみられる。

イギリスはヨーロッパの経済大国として、ヨーロッパ統合の歩みとは一定の距離を置く独自路線を進んできた。例えば、1967年の発足時には加盟を見送り、1973年になってから加盟している。また、1999年にヨーロッパ連合(EU)の単一通貨が誕生した際にも、自国通貨ポンドの優位性を理由に導入を見送った。さらに、2016年にはヨーロッパ連合離脱の是非を問う国民投票が行われ、2020年には離脱に至った。⁽²⁾離脱後、イギリスは日本など各国と個別にを締結している。⁽³⁾

問 1 文中の空欄～に当てはまる語句を答えよ。

問 2 下線(1)に関して、札幌よりも高緯度に位置するロンドンは、1月の気温の平年値が5.7℃と、札幌の-3.2℃よりも暖かく(国立天文台『理科年表2025』(2024)より)、季節を問わず平均的に降水がみられる。この理由を説明せよ。

問 3 下線(2)に関して、ジェントリフィケーションが行き過ぎた場合のデメリットを説明せよ。

問 4 下線(3)に関して、文中のに当てはまる語句を答えよ。そのうえで、と自由貿易協定(FTA)との違いを説明せよ。

問 5 国民投票を実施してヨーロッパ連合(EU)を離脱するに至ったイギリス国内の社会的背景について、「財政負担」「保険・医療制度」の2つのキーワードを使用して説明せよ。